

国土交通大臣

石井 啓一 様

記録的な豪雪に伴う
国への緊急要望書

(平成29年2月)

鳥 取 県

豪雪による除雪費用の追加配分及び県内高規格幹線道路の4車線化について

《提案・要望の内容》

平成29年2月9日から12日にかけて、県東部を中心に豪雪に見舞われ、特に鳥取市では例年の10倍となる91cmの積雪を記録した。本年1月23日から24日にかけて発生した豪雪では、鳥取自動車道及び並行する国道373号で大規模な渋滞が発生したことを踏まえ、関係機関が情報共有を徹底し、除雪体制等の連携強化を図っていた。しかしながら、主要幹線道路を含む県内全域の道路において、長時間にわたる渋滞や通行止めが発生することとなり、道路管理者による立ち往生車両の移動のみならず、国、県が連携して滞留車両に対する給油や食料の配給などの人命救援活動を行ったところである。

県内の高規格幹線道路は暫定2車線であることから、スタック車両の排除や除雪作業に伴う交通渋滞や通行止めが発生しており、特に、米子自動車道では吹雪による視界不良も伴い、延べ約56時間にわたり通行止めが発生することとなった。

ひとたび豪雪が発生すれば、この度のように県民の安心・安全及び地域経済活動を大きく損なうことから、以下の項目について特段のご配慮をお願いする。

- 今後の降雪に対応し、安定した冬期交通を確保するため、この度の豪雪の実績を踏まえ、平成28年度除雪費用の重点的な追加配分をお願いする。
- 付加車線の設置検証区間となった米子自動車道の早期工事着手と、積雪等防災の観点も踏まえ、残る区間の付加車線設置及び4車線化の検討をお願いする。
- また、鳥取自動車道及び山陰道の暫定2車線区間における付加車線の設置及び4車線化に向けた検討、並びに現在事業中の付加車線整備の促進をお願いする。
- さらに、道路管理者の垣根を越えた除雪応援体制の構築や情報共有など、更なる連携強化を推進するため協力をお願いする。

<今回の豪雪の状況及び対応>

■主な地域の最大積雪量（降り始めから12日16時まで）

市町村名	鳥取市	倉吉市	米子市	智頭町	大山町
積雪量	91cm	61cm	40cm	85cm	264cm

- ・鳥取市の2月10日～12日にける平均積雪深は9cm（1981年～2010年30年平均）
- ・鳥取市の2月における日降雪量65cmは観測史上最大（1953年1月以降）
- ・鳥取市における91cmの積雪は33年ぶりであり、観測史上5番目（1943年1月以降）

■主な対応（立ち往生車両への支援等）

- ・立ち往生車両への給油
- ・食料、飲料の配布
- ・自走不能車両の移動
- ・滞留車両に対するヘリコプターやチラシ配布による情報提供
- ・シミュレーションに基づく迂回路（県道）の集中除雪の実施

《参考》

■災害対策基本法に基づく道路区間の指定箇所

路線名	区間	延長	指定日時
山陰道	鳥取県鳥取市気高町八束水～ 東伯郡湯梨浜町長瀬 (八束水交差点～長瀬浜入口交差点)	18.7 km	2月11日 15時30分
国道9号	鳥取県鳥取市気高町八束水～ 東伯郡湯梨浜町長瀬 (八束水交差点～長瀬浜入口交差点)	18.4 km	2月11日 15時30分

■主要路線における通行規制等の状況

路線名	区間	最大滞留 車両台数	備考
米子自動車道	米子IC ～ 久世IC	—	
山陰道	八束水交差点 ～ はわいIC	約100台	
国道9号	八束水交差点 ～ 原交差点	約150台	

要望

県内高規格幹線道路の4車線化

高規格幹線道路における通行規制箇所



■ 大雪による規制（全面通行止）

- ① 山陰道（八束水交差点～はわいIC） 約13時間
国道9号（八束水交差点～原交差点） 約23時間
- ② 米子自動車道（久世IC～米子IC） 約56時間
- ③ 鳥取自動車道（河原IC～鳥取西IC） 約5時間

■ 山陰道と国道9号の全面通行止規制によって、鳥取～倉吉間の交通が半日にわたり断絶した。
■ 暫定2車線で供用している自動車専用道路では、スタック車両の救出・除却が困難であることが露呈



2月11日 山陰道青谷羽合道路（スタック車両撤去状況）

国と県の連携

国道9号の渋滞解消のため迂回路(県道)を集中除雪し、国と県が連携して渋滞車両に案内チラシを配布



冬期における**県民生活の安全・安心**及び**地域経済活動を維持**するため、**県内高規格幹線道路の暫定2車線区間における付加車線の設置と4車線化**に向けた整備推進と検討の促進をお願いする。